# 弘前 ねぷた

# 昭和編 1988 ~ 1983 & 2021

OFFICIAL GUIDE OF HIROSAKI NEPUTA LATE SHOWA & 2021 DIGEST



◀小栗山ねぶた愛好会 '83(昭和58)年
元寇の役 河野通有勇戦の図 長谷川達温



▶弘前大学ネプタ実行委員会 '85(昭和60)年
三国志 孫権奮戦の図 阿部義夫



◀'83(昭和58)年
津軽じょっぱり 大太鼓






長谷川流ねぷた塾
玄龍庵
昭和の名人　長谷川達温師の技に学び
ねぷた絵を描いてみませんか。
■お問い合わせ先
電話：090-7336-9037（事務所高松）
：090-1930-3593（山本達扇）

高松写真館
〒036-8158　青森県弘前市品川町７
TEL/FAX 0172-32-1909
E-mail : contact@photo-takamatsu.com
Web : http://www.photo-takamatsu.com/

Miura music office
コンサート企画
三浦音楽事務所
初心者から、音楽留学・海外留学を
目指す方のための歌のレッスン

公開レッスン
musicmiura.com

蓄積された技術を
活かしてお客様へ
有限会社 新和印刷
E-mail:p-sinwa03@w7.dion.ne.jp
■ 日専連加盟店
営業部・工場／〒036-0233 青森県平川市日沼富田24-6 TEL(0172)57-5551㈹
FAX(0172)57-5554
本　社／〒036-8092 弘前市城東北３丁目13-10 TEL(0172)26-2521





〈弘前中三 1F スパイラル〉
津軽のガラス展
2021.8.7sat-8.15sun
夏を感じさせる津軽のガラス「津軽びいどろ」と「白神硝子」の
競演。普段使いからギフトにもぴったりなアイテムが揃います。
ともに、あなたと。嬉しい明日へ。
NAKASAN®
弘前中三／弘前市土手町49番地1 TEL0172(34)3131

〈弘前中三 1F ガレリア〉
NEPUTA SOUL －ねぷた魂－
2021.8.7sat-8.15sun
２年連続で中止となった「弘前ねぷたまつり」。
今年は皆様に少しでも体感いただけるよう、
原画展示、囃子演奏など開催いたします。
◇小型ねぷた本体展示　◇若手絵師原画展示
◇ねぷたの歴史展　◇2021ねぷたガイド販売
◇弘大囃子組 囃子演奏（8/8・9・11・12・13 各日午後2時より）
◇クラフトねぷたをつくろう（キット無料配布）







路上社
出版・編集・企画

9784899930884

通巻39号（年刊）定価800円（本体727円）
ISBN978-4-89993-088-4　C8476 ¥727E

1928476007271

## 昭和編


あ愛成会83　青女子5　青葉会10　東町79　新町71
医師会29　石渡40　岩木ねぷた11　NTT12
大久保津賀野60　大開保育園67　鬼沢44
か海遊会58　堅田19　門外一心会84　がほんず45
上代官町50　亀甲62　桔梗野39　健生64　建設業52
幻満舎18　小栗山37　護国館41　小沢34　五代66
紺屋町65
さ祭鬼69　境関54　栄町68　佐川76　桜ヶ丘49
桜田病院70　三八町会36　小比内4　JR駅前59
自衛隊3　茂森新町2　茂森津軽9　七峰会56　清水森77
下新町46　市役所87　樹木32　城東55　城南61
城北16　城北町会73　昭和町38　上和会11
市立病院81　新寺町51　青年会議所85　青年団体33
前進会84
たたばこ組合85　田町78　タムロン5　東日流道場73
津軽歴史25　槌子8　天理教13　てんり保育園80　東奥
日報4　常盤坂53　土手町・中土手町35　ととの魁67
外崎72　富田清水23
な撫牛子31　仲町76　ナショナル80　西地区27　日産88
は浜の町30　晩暮出酒57　必殺26　弘果80　弘前大学6
弘前伝統ねぷた63　弘前寅会44　弘前佞武多之鬼86
藤代24　富士見町町会86　ふたば・せんだん15
ま松原14　宮園23　向外瀬28　元寺町・下元寺町77
やユースホステル85　養生88　賀田76
ら立正佼成会48
わ和徳大通り21　和徳町青和会20


## 2021年編


養生89　盟友会89　桔梗野90　紺屋町90　銀座街91　同志集り91　桜ヶ丘92　地主92
医師会93　みなみ幼稚園93　津軽衆94　富田清水94　弘城会95　鼻和95　JR駅前96
令和ねぷた会96　茂森新町97　茂森津軽97　大浦為信98　幻満舎98　東地区99　相馬99


## ねぷたと私　エッセイ


ねぷたまつりと商工会議所　今井　高志　10
ねぷたの復活を心待ちに　大澤　美菜　16
嗚呼、ねぷた馬鹿につける薬なし　大中　実　22
近代弘前ねぷたの萌芽　葛西　敞　22
昭和後半、袖絵が進化　川村　岩山　30
養生幼稚園のねぷた　齋藤　弘子　36
囃子だけでの町内運行　木村　匡　42
ねぷたと私　櫻田　宏　42
涙の中のねぷた　古川　伸子　50
ローソクの炎と暗闇　柴田　哲朗　56
弘前ねぷたまつりを魅せるツアー　白戸　大吾　62
ヤーヤドーを追いかけて　田邊奈津子　68
釜蓋朔日！　ねぷた入魂　知坂　元　74
ねぷたが好きだから……　野村　雄大　74
我がねぷた人生　松山　憲一　82
特別な夏　山本　和之　82
私のねぷた雑感、原風景……　山本　清寛　86


## あとがき

●今回は1983年からの昭和のねぷたの写真集めで、微力ながら参加させてもらいました。私の力不足で全ての団体を集める事はできませんでしたが、当時ねぷたの写真を撮影してくれた方や業者さん、その写真をコレクションし保存していた方々、今回協力していただいた全ての皆様にお礼を申し上げたいです。▶合同運行がなく全ての団体を見る事ができない今年のねぷたも掲載されるのは、イチねぷたファンにとっても大変嬉しい1冊になりました。　**(高松)**

●5月28日、地元紙の一面を「2年連続中止」の見出しが黒々と飾った。「またねぷたが無い夏が来る」悪い夢ならば覚めてくれと何度も見直したが、現実は変わらなかった。だが今年も今年で空虚な夏とはならないようだ。▶多くのねぷた団体が町内運行や展示を行うのはもちろんのこと、我々ねぷた馬鹿のバイブルであるガイドも、今度は昭和の総集編を刊行するというのだから…。安田さんをはじめ関係者の皆さんの心意気に「じゃわめいだ」。▶今年も編集に携わることができて誇りに思う。来年の話になるが、いよいよ弘前ねぷた300年の節目を迎える。コロナ禍を乗り越え、史上最高に盛大な祭りにしようではないか！ヤーヤドー!!　**(外崎　陸)**

●まさかの2年連続中止。今年はどうしようかと考えていた時、安田さんから連絡をもらいました。「昭和をカラーでまとめるよ」と。昭和のカラー写真はどれも新鮮で1枚1枚じっくりと鑑賞し、心をときめかせながら写真選びをしました。中にはガイド不掲載や前ねぷたの写真が掲載されている団体もありましたが、9割以上をカラーで掲載できたことを嬉しく思います。さらに今年の町内運行・展示ねぷたも。▶昭和から令和へ。時代を1つ飛び越えたこの本は最強です。間違いなく「弘前ねぷた速報ガイド」、〜昭和 平成 令和も定番！〜です。今年もこのガイドの編集に携われて、光栄に思います。ねぷた最高！　**(野村雄大)**

●ねぷた好きの私にとって、「速報ガイド」はかけがえのないものです。何度も眺めては、年中じゃわめぎを感じています。そんな大好きな速報ガイドの特別版の発行にあたって、昨年に続きお手伝いをすることができ、光栄に感じています。▶この2年間の出来事が過去の話となった頃、伝説の速報ガイドのお手伝いをしたと、後世に自慢したいと思います。▶これからも、弘前ねぷたまつりとともに、速報ガイドが多くの人々から愛され続けますよう、願っています。　**(清藤慎一郎)**

●印刷業に携わってはや●十年、世代交代で21世紀枠(笑)の後輩ができる時期。さて、業界あるあるで「専門用語という俗語」を覚えてもらおうと思うのですが、「号」なんて単位がありまして……口頭でどう表現するか、「仮面ライダー1号」「新幹線ひかり号」「マッハ号」「愛のチャンピオン号(ぉぃ)」……やばい例えが全部昭和だ(笑)。▶思えば僕らが生れたずっと以前にアポロ11号が月に行った、なんて曲が、彼らにとっては「生まれる前の流行歌」なんだよなぁ　**(紙資料で説明しろよ……おとも)**

●2年続いた祭り中止に、ねぷたの灯を絶やしてはならないという安田の意に賛同してくれた、いろんな意味で協力というより助けてくれたねぷた大好きという若者達が居てくれた事が、とても簡単な言葉では言い尽くせない程の頼もしさと熱意に、最大のリスペクトを。▶明日校了になるという夜遅く帰路に着き、身も心も疲れきっているのにねぷたにまつわる人達の熱き思い、想い出を、そしてねぷたへの私が今まで知り得なかった事の深い見識を知り、興奮状態なのか、なかなか眠りにつけなかった。▶知坂元さん曰く、釜蓋朔日！8月1日弘前ねぷた絵でおなじみのヒーロー、ヒロインの死者の霊魂がこの世に帰ってくる。その日霊たちが鏡絵の中の自分の描かれているねぷたを見つけ、勢いよく絵の中に飛び込み同化、その瞬間、絵は命を吹き込まれ、みなぎり、まばゆいばかりの輝きをはなつという。▶彼、彼女達は迫力いっぱいの形相でエネルギーを出し、パワー全開でねぷたを曳いている人達を引っぱっているんだ。▶来年こそは霊魂がねぷたと同化する瞬間を見たい。興奮で眠れないのはあたりまえだよねぇ。　**(智子)**

●「ねぷたの灯を消すな」、その想いで今年も本誌を発行。今年のねぷたまつり、合同運行はないが、町内運行や据え置き展示などは弘前市の厳しい基準を満たすことで認められた。ねぷたを愛するみなさんの熱い心を、後半の「2021年編」に22団体の取り組みとして掲載することができた。▶前半は本誌創刊の1983（昭和58）年から1988（昭和63）年までの6年間のねぷたを総覧した「昭和編」。総台数では370数台。当時は、経費や製作にかかる時間の制約から、本誌はモノクロ写真でのご紹介にとどまっていた。それがねぷた写真の蒐集家や写真家のご協力で、今回カラーでの紹介がおおむね実現した。深く感謝申し上げる。またその発掘に尽力してくれ、それぞれの写真のねぷた団体を特定してくれたチームがいる。深謝!!　▶さらには、「ねぷたエッセイ」である。17人へのエッセイ依頼にみなさん快く応じていただき、弘前市民の様々なねぷた愛、心意気がここに記されている。最初の読者となった小生は、この幸せをひとり占めにした。読者のみなさんにもぜひ目を通してほしい。▶来年はねぷたが最初に歴史に記載されてから300年になる。それを記念しての「ねぷた300年祭」が企画されている模様。楽しみである。みなさん、健康でいよう。来年のねぷたまつりで会いましょう。　**(安田燻風)**


**弘前ねぷた昭和編＆2021**　2021年8月1日発行

■発行所　**路上社**　〒036-8361 青森県弘前市紺屋町219
TEL 0172-36-8858・FAX 0172-36-8865
E-MAIL：rojosha@amber.plala.or.jp
HP：rojosha.com

■発行人　**安田俊夫**

■印　刷　**㈲新和印刷**　■製　本　**㈱時田製本**

■協　力　弘前市観光部観光課・川村岩山・川村尊斗・八木橋廣
佐々木勝則・古川良一・花田隆良・小友清剛
高松昱・外崎陸・野村雄大・清藤慎一郎



©ROJOSHA 2021 Printed in japan